



こおりまち

議会だより

VOL.

136春号

令和6年
5月1日発行



議会ホームページへ



議会だよりへ



主な内容

3月定例会・令和6年度予算・主な事業 ②

施政方針への質問 ④

一般会計予算への総括質疑 ⑥

9名の議員による一般質問という名の政策提案 ⑭

3月 定例会

●会期：2月28日(水)～3月15日(金)(17日間)

提出議案27件 審議採決

条例改正8件、補正予算6件、令和6年度一般会計・特別会計・水道会計7件、同意2件、陳情2件、諮問2件、発議1件、指定1件

令和6年度施政方針・主な事業と予算

1 活力と賑わいに満ちたまちづくり

桑折町地域おこし協力隊委託事業・活用事業	7,940万円
有害鳥獣侵入防止柵維持管理業務委託	900万円
いちいパブリックスペース内自習室運営事業	338万円
空き店舗出店支援事業	122万円
桑折の魅力彩発見集客・販路開拓事業	100万円
町道101号線拡幅工事積算業務	338万円



地域おこし協力隊



自習室「学VIVA まなびば」



睦合防災訓練

2 危機管理を備えた安全安心のまちづくり

防災力強化・関連機器整備事業	1,030万円
防犯灯整備・維持管理事業	190万円



瀬戸場線



内ノ馬場線

3 暮らしと自然が調和した豊かさを 実感できるまちづくり

空家等対策事業	347万円
耐震診断・耐震改修・ブロック塀改修事業	438万円
町道(瀬戸場線、内ノ馬場線)・水路維持管理	9,000万円
水環境保全事業	10万円
配水設備の建設改良事業	5,499万円
住宅用再生可能エネルギー設備設置補助金	408万円
一般廃棄物収集運搬業務	3,277万円

4 健康長寿で元気なまちづくり

「献上桃の郷」おでかけパス利用助成事業	1,230万円
大かや園エアコン更新工事	302万円
こおり健康楽会事業	412万円
第3次健康づくり計画策定	404万円
第2次桑折町地域福祉計画策定業務	354万円
保健福祉センター集団検診室耐震・減災化設計業務委託	400万円



こおり健康楽会事業

5 子どもを大切にするまちづくり

こども家庭センター事業	2,305万円
子ども・子育て支援事業計画推進事業	391万円
学校のあり方検討事業	34万円
制服支給事業(幼・小中)	591万円
自転車用ヘルメット購入助成事業	50万円
英語教育推進事業(中学生の異文化体験事業)	221万円
GIGAスクール構想の推進	4,415万円
認定こども園等施設設備補助金交付事業	3億4,861万円
給食費保護者負担軽減事業(幼小中・全額支援)	5,307万円



健康づくり



制服贈呈



英語教育 異文化体験



追分・分岐点

6 交流で絆を育むまちづくり

町制施行70周年記念事業	250万円
桑折町若者定住促進事業	1,500万円
献上桃の郷こおりシティプロモーション事業	1,832万円
歴史と文化を活かした魅力体験発信事業	1,000万円
旧伊達郡役所周辺案内及び小径看板改修事業	630万円
旧種徳美術館解体事業	3,792万円
奥州・羽州街道追分竹垣修復工事	135万円
かわまちづくり事業	400万円
都市計画図更新事業	291万円

施政方針質疑

1 活力と賑わいに満ちたまちづくり

**アンケート回収は
どう影響するか**

本町の将来に大きな効果

佐藤 武朗 議員

問 福島河川国道事務

所において進められている、福島市北部から桑折町国道4号区間の通勤や買い物等の移動状況についてのアンケートは、本町の今後のまちづくりには大きく影響することと思う。回収に向けての町の支援と、このアンケートがどのような影響を及ぼすか伺う。

答 広報こおり・HP・各種団体等へお願い。確定申告時に役場の町民ホール、イコーゼ等に用紙と回収ボックスを設置。

西道路は令和8年には医大前まで開通。本町にとっては、西道路の幅員30メートルの道路が同様の幅員で北進が図られ、また桑折町の4号国道へ直接接続となれば、伊達桑折インターチェンジ、相馬福島道路、北道路が本町の将来に大きな効果をもたらす。

3 暮らしと自然が調和した豊かさを実感できるまちづくり

中北町内会上部まで
送水設備を

第5次拡張での対応

齋藤 松夫 議員

問 水環境分野で「水道ビジョンに基づき

統合」さらに「安心安全な水

供給に努める」と述べられた。災害多発・気候変動下において、災害による断水や水源枯渇などへの対策が急務の時代となった。そうした万一の場合に備え、上水道からの給水不可簡易水道区域への対策として、半田・田町の上水道本管から

中北地区上部方面に向け、送水設備の設置を検討してはどうか。

答 そのような方法はあるが、かなりの費用がかかるので「第5次拡張」での対応とならざるを得ない。その間は現行の町補助事業で対処していく。

**新設「廃棄物減量等推進協議会」の目的は
ごみ再資源化 減量化の強化**

石幡 政子 議員

問 6年度に新設される「廃棄物減量等推進協議会」における取り組みについて、従来ある「こおり町廃棄物減量等推進審議会」との違いは、また、相互連携して事業を推進するものか伺う。

答 新設の「廃棄物減量等推進協議会」は、ごみに関する問題に関して、町民の方からより多くの意見を収集することを目的とし、更にごみ再資源化・減量化を強化していくものである。委員には女性をはじめ、ごみ収集事業者、衛生処理組合等、専門分野から

の参画もあり、適切なアドバイスや提案をもってごみ問題に対処していく。

**再エネ推進と
景観保護について**

自然を守り景観を守る

半澤 高 議員

問 再エネ導入を進めていくと同時に豊かな自然の保護と継承に努めていくとあるが、他自治体ではメガソーラーや風力発電施設により自然景観が損なわれる事に対する危惧が叫ばれている。桑折町においてもかなり以前に半田山にゴルフ場計画があり阻止した経緯があるが、自然景観を守りながら再エネ導入を推進する事に対しどのように考えているのか伺う。

答 自然景観は、一旦壊したりすれば戻すことができないものであり、行政のスタンスは自然を守り景観を守るというものである。それに反するメガソーラーや風力発電の開発が案件として浮上すれば、町の考えを伝え阻止する。

**治協の目的に沿った
体制づくりは
今年度中一定の方向性をだす**

川名 静子 議員

問 住民自治協議会の活動に町は何を求めているのか。地域の課題を洗い出し自助・共協助・公助から解決策を見つけ出すのでは。今のあり方で良いのか町の考えを伺う。

答 設立から10年以上経過しているがその目的に達していない認識にある。自治協自体の組織のあり方を再認識することで、ごみ問題、健康づくり、伝統の継承等自治の中で取組める話だ。分野別メニューを洗い出し統一ではなく、地区に合ったやれる事、やるべき事を選択、提示する6年度中には一定の方向性を出せるよう関係者と協議する。地区の拠点となる公民館の管理運営を自治が受ける指定管理の方法もある。素晴らしい町にするため先進地視察を含め早々に着手したい。

5 子どもを大切に作るまちづくり

学校教育の推進における
課題は

早急に解決すべき課題を解決していく

半沢 正保 議員

問 子どもが健やかに成長できる桑折町であるために、教育分野においては「桑折ならではの質の高い教育、「誰一人取り残すことのない教育」を施策としている。緊急の課題は何なのか、その解決のために具体的実践・評価していくのかを伺う。

答 学校小規模化への課題解決に早急に取り組むとともに、小中学校のあり方検討会議を設置し、解決策を検討していく。

通学路の
安全確保に向けて

パトロール等を踏まえ対応する

鈴木 隆志 議員

問 令和5年度一般会計補正予算において、残予算を活用して、通学路の安全対策環境整備修繕を、



年度内予算に計上対応している。

施政方針で、パトロールを踏まえ、適切な維持管理に向け、改良・修繕に積極的に取り組んでいくとあるが、令和6年度においても通学路の安全確保に向けた整備が必要と考えるが、町長の所見を伺う。

答 通学路の安全確保のため、PTA、学校関係者、交通安全協会を含め、合同で、毎年、通学路の安全点検調査実施している中において、緊急かつ危険度の高いものは、最優先に解消していくよう、迅速に対応していきたい。

令和6年度においても、年度内で残予算があれば、速やかに有効に活用し、しっかりと安全確保に努めていく。

6 交流で絆を育むまちづくり

多様化、複雑化する
要望対応は

町民ニーズを的確にとらえ対応

川村 滋道 議員

問 桑折一の実現に向けジェンダー平等の行政の視点こそ必要と考える。性的マイノリティーのパートナーシップ関係を自治体が認証する「パートナーシップ制度」導入はまさにその先駆けとなりうるものと考えるが町の見解を伺う。

答 他自治体の動向を踏まえ当町でも関係部局との調整を行いながら推進を図りたい。町レベルで実施されていないのは承知だ。

全国で公務員不足、
桑折町は

採用予定数を採用できている

岡本 貴士 議員

問 日本国内の自治体職員の人手不足は深刻さが増している。毎日新

聞(2024/1/15)は「47都道府県が2023年度に実施した職員採用試験(中略)45都道府県で『採用予定数割れ』が生じていたことが、毎日新聞のアンケートで判明した」と報道した。町民福祉に優秀な町職員が存在は欠かせない。そこで令和6年度の本町の職員採用に対する考えを伺う。

答 本町の現状として「採用予定数割れ」は起きていないものの、応募者数は年々減少している。専門性を身につけているOB・OGの採用も含めて、積極的に優秀な人材を求め、採用に取り組んでいきたい。

ポータルサイトをつくる
考えはあるか

今のところサイボウズを活用

羽根田ひとみ 議員

問 「DX推進計画」を進めるうえで、職員が情報共有できるポータルサイト(企業で多く使われている社内ポータル)をつ



くる考えはあるのか伺う。

答 現在、職員の情報ウズでメール・メッセージ・掲示板機能を活用している。

問 サイボウズには町民からの要望等を認める検索機能があるのか。

答 ファイル共有機能で開くことができるが、より細かい機能については、引き続きさらなる研究をしていく。

令和6年度 一般会計予算

可決

3.9%増

前年比：2億3,680万円の増

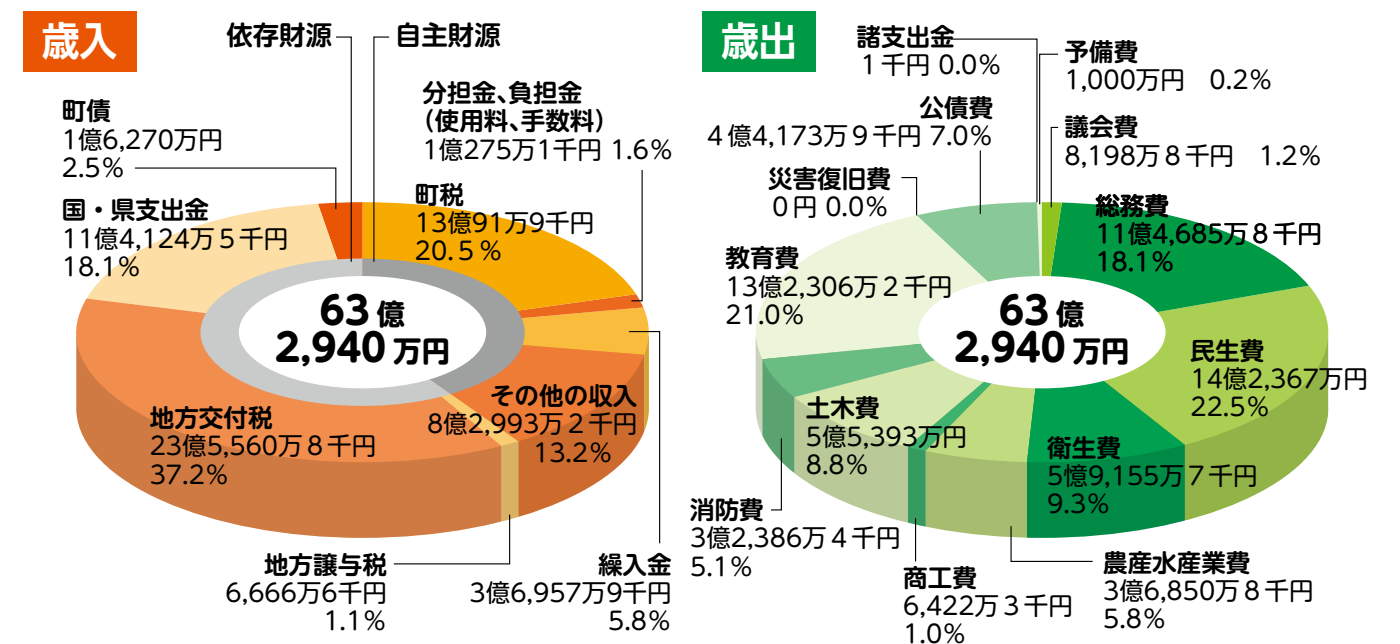
要因：地方交付税の増額
県支出金の増額

63億2,940万円

一般会計、特別会計の当初予算が本会議において、原案のとおり可決されました。

歳入の主なもの	令和6年度予算額	対前年度増減額
町税	13億91万9千円	▲2,331万5千円減
地方交付税	23億5,560万8千円	336万3千円増
地方譲与税	6,666万6千円	▲442万円減
地方消費税交付金	2億9,976万9千円	1,090万2千円増
国庫支出金	5億1,515万7千円	449万1千円増
県支出金	6億2,608万8千円	▲4,248万2千円減
寄付金	2億300万1千円	4,600万円増
繰入金	3億6,957万9千円	4,196万2千円増
町債	1億6,270万円	7,600万円増

歳出の主なもの	令和6年度予算額	対前年度増減額
普通建設事業費	6億4,259万4千円	7,647万3千円増
認定こども園等施設整備費補助金	3億4,861万円	300万5千円増
町道新設改良事業費	5,386万8千円	▲1,463万5千円減
人件費	15億243万6千円	6,763万8千円増
物件費	12億6,321万2千円	7805万3千円増
扶助費	5億5,549万2千円	▲262万4千円減
補助費等	8億2,923万8千円	1億5,532万1千円増
公債費	4億4,492万5千円	▲5,134万3千円減
繰出金	5億7,886万3千円	▲1億5,840万3千円減



令和6年度 一般会計予算 総括質疑

※総括質疑とは、一般会計及び特別会計予算案について町長等に総括的な見地から質問を行うこと。

公債費状況、
全国より比率低い

岡本 貴士 議員

問 総務省は令和6年度地方財政計画で、

令和6年度の歳出に対する公債費比率は10・9%になると見込んでいます。これは全国的な目安である。例えば、町の総歳出が100億円であった場合、公債費（借金の返済や利息の支払い）の目安は10・9億円になると考えられる。本町の令和6年度一般会計予算において、公債費をどのように評価しているものか伺う。

答 本町の令和6年度の歳出に対する公債費比率は7・0%であり、健全財政を維持していると捉えている。

地域部活動に水泳を
（イコーゼの活用）

羽根田ひとみ 議員

問 施設（プール）と指導員に恵まれた本町

なので、水泳競技をイコーゼで練習できる環境であると考えています。地域部活動としての検討は中学校の負担が大きいということと理解していますが、現在も特設水泳部は存在している。スイミングに行きたくても行けない生徒たちの為にも施設の有効活用を考えるべきだ。小学生の水泳教室と成人の健康教室はあるが、競技の為に練習するものがないので検討を。

答 国からの予算で子供たちの為に作った施設である。町としては場

の提供はできる。公民館事業として検討する。

現時点の課題と
中期基本計画は

佐藤 武朗 議員

問 町総合計画の最終

年次となり、これまでの期間を総括して、取り巻く社会情勢を的確に捉え、中期基本計画にアップデートするとあるが、現時点での課題と中期基本計画に向けた町長の見解を問う。

答 現計画の総括までには至っていないが、

超のつく少子高齢化社会、人口減少問題、激甚化・頻発化する自然災害から町民を守る、ICT社会の進展のなか、各種の課題対応が必要。財政は当然、健全財政を維持しながら、人口減少が進む中、公共施設の将来に向けてのあり方、また厳しく行政改革を進める一方で将来に対する投資など、町政施行70周年を迎えるなかで、持続可能な自治体としてしっかりとした存続を、どう実現するか5年間に

町道・水路維持管理
予算は

鈴木 隆志 議員

問 令和5年度一般会計

計補正予算において、町内会要望に対して、年度内予算増額して対応しているが、令和6年度においても、年度内に、緊急、優先度の高い事業が、あれば、年度内補正予算増額対応していく考えはあるものなのか、町長の所見を伺う。

答 道路維持管理費に

ついて、町内会要望を踏まえ、令和5年度に比べ1千万円増額し、令和6年度予算に反映している。令和6年度予算執行において、優先度、緊急度を考慮して予算執行していく中で、どうしても、年度予算執行に必要となった道路維持管理費について、場合により、年度内補正予算を計上していくことも、検討し、地域の要望に応じていく。



働く職員の常勤比率は

川村 滋道 議員

問 当町の職員数は283人で常勤が111人会計年度任用職員が72人だ。正規率は39.2%だ。総務省が2020年4月に発表した「令和4年度地方公共団体定員管理調査結果の概要」では令和2年4月1日現在の調査では45.1%だったから更に非正規率が増えた。ちなみに県内31町の内、当町の正規率は30位と下から2番目に低い。職員のモチベーション向上の為に正規率向上の取り組みを伺う。

答 職員構成は定員管理を見直しながら事務執行が適正に行われるように考えている。人件費は年々増加の傾向だ。

対策で遅れをとったのでないか

齋藤 松夫 議員

問 複式学級化の時代を迎えているなか、「小中学校のあり方検討会」

の予算が計上された。この間、教育文化課の事務執行を「認定こども園問題」で忙殺されるような状況に追いやったことが、この問題に対する対策で遅れをとる結果を生み出しているのではないか。

答 遅れてはいない。行ってきた。そのうえにたって学校教育に関わる様々な立場の代表者が、幅広い視野と長期的な見通しに立って検討を行うための「あり方検討会」である。2年間の検討で方向性を見出していく方針である。

子どもを大切にすまちづくりを

半沢 正保 議員

問 本定例会において、一人ひとりの子どもを大切にすべく、学校小規模化への対応策の一つとして、町独自の複式学級解消非常勤講師の配置を提案した。この提案に対し、教育行政として積極的に解決に取り組む姿勢を確認することができた。小規模化

していく学校の子どもたちを、どのように守っていくとするのかを町長に伺う。

子どもたちに本物の芸術と文化を

川名 静子 議員

問 町民憲章の「歴史と伝統を尊び、おり高い文化の町をつくりましょう」とあるが、今年度の文化祭の予算は66万8千円。町民のみならず、子供たちにも本物の芸術・文化に触れる機会が必要と思う。アンケートには「芸術・文化に触れていない」と45.6%の町民が回答している。町民の意向に沿う環境での開催はできないものか。

答 この活動は町民が、それぞれが選択する分野と思う。全員が興味を持つことは難しい。持てる時間の中での豊かな人生を送るべく選択だ。生涯学習は公民館事業だけではない。

各課横断的に行う事業の意味合いも包含されている。日常的に体感でき小さい時から本物に触れる機会を作る事は重要、まさに歴史と文化を実感できると思う。

一般会計予算 討論

反対 5 賛成 6

川村 滋道 議員

蚕糸跡地活用事業における「基本計画書」および基本計画書締結後の協議に基づく「決定文書」が議会に提出されないまま本予算が採決される。このような事務執行は自ら定めた「公募型プロポーサル実施要領」を無視したものであり、さらに長期にわたり議会に公表されなかった事は誠に遺憾である。よって本予算に反対をするものである。

賛成 石幡 政子 議員

令和6年度予算は、5年度からの継続事業「桑折イン

ターチェンジ周辺整備事業「郡役所周辺整備事業」「福島蚕糸跡地活用事業」等を更に推進する予算となっている。また、各分野において新規事業も盛り込まれ、町長施政方針のなかにある時代の流にのり、さらに先取りしていく事業内容となっており、町民の福祉向上と安心安全なまちづくりを推進できるものと確信する。「いちい」のオープン時の賑わいをみれば、町民はもとより他地域の方々も心待ちにしていた事がわかるものであった。多くの町民は町がすすめる、「福島蚕糸跡地活用計画事業」に期待していると考えることから賛成討論とする。

賛成 斎藤 謙 議員

私は令和6年度予算案に反対とする。

何故なら、町有地利活用公募型プロポーザル実施要領の決定方法に各施設等の建設事業は基本計画に基づき決定するものと定められてある。

未だ「基本計画」が公表されていない。このような事務執行は自ら定めた「公募型プロポーザル実施要領」を無視し

ており、蚕糸跡地利活用事業の具体的事業計画が長期にわたり議会に公表されることなく展開してきたことは、誠に遺憾であり、優先すべきことは少子高齢化の現状において、小学校の複式学級が増加傾向にあるのに、町は交流記念館建設や企業誘致促進を優先した取組を実施することは、教育の町こおりと標榜されているには、はなはだ疑問が残る。早急に小学校のあり方の方向性を示すべきであり、真に我が町の将来を考えた取組なのかは問題である。

なお、保育園事業者が旧統一教会との関係が深いことは、将来の子供達への影響は計り知れず、この予算案には反対とします。

賛成 佐藤 武朗 議員

総合計画、前期計画の最終年次にふさわしい予算である。今後の課題克服に向け、本町の更なるイメージアップが見込めるシティブロモーション事業、高品質な桃の生産を将来に繋げる各種農業振興対策事業、行政に求められる情報政策推進事業等、各種必要な予算計上である。

また、長期未利用地であった福島蚕糸跡地も民間事業による商業施設、グランピングが開業、認定こども園の関連予算も計上し、中心市街地の活性化につながられる。

反対 鈴木 隆志 議員

町民生活にとって、大切な予算であることは、充分理解しているが、商業施設の地下埋設物処理費用は、事業者がアスベスト処理費用を除き負担しており、公募型プロポーザル実施要領で、地下埋設物費用の事業主負担損害賠償ができないことの記載があり、認定こども園の地下埋設物撤去費用について、認定こども園の事業者及び建設予定地の土地の貸主が、費用負担することなく、町が、全額負担することの根拠が見いだせないの反対とする。

賛成 羽根田 ひとみ 議員

図書室へのWi-Fi設置。現代の若い人達にあった子育て支援アプリの提供。また、学習環境向上のための学習室設置。自転車発祥の地桑折町をPRするために国土交通省の事業と合同開催させるなど、

前向きな発想と工夫した取り組みを評価する。今後も積極的な行動に期待して賛成とする。

反対 川名 静子 議員

前年比3.9%増の予算が組まれた。教育費は民生費について20.9%を占めたが増の要因は「こども園」施設整備費だ。来年4月開園予定であることだけで他は示されず保護者にとっても選択の決め手が定まらず不安だ。また、商業施設の自習室に町が賃料を負担することに疑問がある。事業者選定時の決め手とした「社会貢献」の範疇ではないか。変更契約も無視してまで事業者に肩入れの必要があるのか理解できなく、疑問を感じることから反対する。

賛成 半沢 高 議員

本議案に対して賛成の立場より討論する。予算編成方針にある6つの重点施策（総合計画・基本構

想6つの方針）を力強く進めることができる予算であり、今後も続くであろう厳しい社会情勢を町民とともに乗り越えていくる予算であることから賛成する。

反対 齋藤 松夫 議員

第一 蚕糸跡地は取得目的明確な町有地だ。これを「遊休資産（予算編成方針）」と位置付けての事務執行が迷走を生み出した根源となっている。

第二 事業者との基本協定締結前の「基本計画なし」の事務執行は、事業者追随型の予算編成となった。

第三 認定こども園事業者への補助金は、教育基本法第2条5の理念に照らし不相当。第四 旧郡役所周辺整備は多額事業費となる。そのような町財政上の余裕はない。

賛成 岡本 貴士 議員

令和6年度施政方針「輝かしい未来に向け着実に『もう

一步前へ』という言葉通り、令和5年度から続く、福島蚕糸跡地利活用、伊達桑折IC周辺土地利用などの事業を進める予算が計上されている。また、令和6年度の国家予算を的確に捉えた事業が新設されている。今後、地方交付税交付金を活用し、町民福祉の向上を期待できるものだ。最後に、福島蚕糸跡地利活用にご尽力いただいた担当課・関係各位に敬意を表し賛成討論とする。

賛成 半沢 正保 議員

休会中議案調査において、各課長に重点事業並びに新規事業の詳細とその予算について説明いただき、桑折町のまちづくりへ熱意を感じるとともに責任を持って職務を遂行していくものと確信し、信頼して町行政を任せることができると判断した。また、主要予算を一覧にまとめることにより、各課が予算書を誠意を持って作りあげたことが明確となった。どの市町村よりもよいまちづくりが具現化できるものと判断し一般会計予算に賛成する。

令和6年度
特別会計予算

	令和6年度予算額	令和5年度予算額	比較
国民健康保険	12億9,164万9千円	13億3,711万円	▲4,546万1千円
後期高齢者医療	2億841万6千円	1億8,963万2千円	1,878万4千円
介護保険	17億1,037万2千円	17億1,426万3千円	▲389万1千円
半田財産区	56万9千円	42万4千円	14万5千円
水道事業	3億6,713万3千円	3億6,555万2千円	158万3千円
下水道事業	2億5,464万円	0円	2億5,464万円

令和5年度
補正予算

一般会計(第7号)			
歳入歳出予算の総額から、歳入歳出それぞれ3億5,607万6千円を減額し歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ63億5,808万8千円とする。			
主な歳入	町税(町民税、固定資産税、軽自動車税、町たばこ税)	増	2,928万8千円
	法人事業税交付金		1140万4千円
	地方交付税		4,191万9千円
	福島県こども・子育て支援交付金		292万5千円
	子どもの医療費助成事業補助金		270万円
	がんばるふるさと・桑折応援寄付金		860万5千円
	企業版ふるさと納税寄付金		215万円
	前年度繰越金		719万6千円
	ため池整備事業		100万円
	伊達地方衛生処理組合地域振興協力金		8,000万円
	福島県安心こども基金特別対策事業補助金	減	2億4,174万6千円
	福島県認定こども園施設整備交付金		4,210万9千円
主な歳出	公共施設維持管理基金繰入金		4,956万円
	伊達桑折IC周辺インフラ整備基金繰入金	額	4,260万5千円
	社会資本整備工合交付金事業債		3,910万円
	基金管理費	増	1億8,900万1千円
	交通対策費		138万1千円
	障害者保護費		130万円
	子ども医療助成費		605万円
	農業施設維持費	額	230万円
	道路維持管理費		273万円
	特別会計繰出金		2,359万2千円
	消防団運営費		139万3千円
	新型コロナウイルス感染症予防事業費	減	1,355万6千円
	農業振興対策事業費		1,882万8千円
	子育て支援事業費	額	3億3,452万7千円

今補正予算の問題となる点は、仮称「観光交流センター」土地購入減額と「こども園」建設用地の埋設物撤去費用だ。昨年9月購入提案時多くが賛成。その後規模縮小等の説明はあったものの、未だ確定した計画の提示もない。でもまた賛成なのか。計画そのものが不安定。美術館収蔵物移転を先に進めるべきだ。人口減に向かう本町に新たなハコモノは必要か、既存の施設ではダメか見直すべきだ。埋設物撤去は契約を守り、独断で決めるものではない。

賛成
羽根田ひとみ 議員

資材高騰の為、他地区でも様々な計画がストップされている。そのような中、蚕糸跡地の件では、当初の予定通りに進まないこともあったが、粘り強く対応し努力していたため、賛成する。令和7年度春には、こども園が開園できるよう実行してほしい。

反対
鈴木隆志 議員

町民生活にとって、大切な予算であることは、充分理解しているが、商業施設の地下埋設物処理費用は、事業者がアスベスト処理費用を除き負担しており、公募型プロポーザル実施要領で、地下埋設物費用の事業主負担、損害賠償ができないことの記載があり、認定こども園の地下埋設物撤去費用について、認定こども園の事業者及び建設予定地の土地の貸主が、費用負担することなく、町が、全額負担するとの根拠が見いだせないので反対とする。

一般会計補正予算
討論

反対
5
賛成
6

反対
川名 静子 議員

賛成
佐藤 武朗 議員

賛成の立場で討論する。この一般会計補正予算は、主に整理予算である。新学期を迎え、通学路の安全対策の環境整備。また、蚕糸跡地の地下埋設物処理費用の計上については、資材置き場、駐車場等の利用ではなく、工作物を建築する目的での賃貸借であり、処理費を負担するのは当然である。ただし、本来はこの物件の取得時に調査を実施し、売主に負担させるべき事案であったかと思う。

反対
齋藤 松夫 議員

本予算の歳入に伊達地方衛生処理組合地方振興協力金8000万円が計上されている。粘り強く交渉を重ねた関係各位に敬意を表したい。今後とも激変する社会情勢に遅れることなく、臆することなく、町民福祉の向上に取り組むことを期待して賛成討論とする。

賛成
川名 静子 議員

がなされた。よって、次の一点を強調し反対討論を行う。その一点とは、法的拘束力を持つ定期借地権設定契約に反し、地下埋設物処理費用673万円を町が負担することとした予算計上だ。このような公金支出が、町長の政治決断により行われたことも明らかにした。これは町民に対する〇〇行為であり反対である。

賛成
川名 静子 議員

児童福祉法及び省令の一部改正に伴う改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

子ども・子育て会議条例の一部改正

子ども・子育て支援法の一部改正及び

子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う改正

賛成
川名 静子 議員

本町の高齢化率は38%を超すまでになった。今計画は高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる事業が組まれている。そのための生活支援コーディネーターの配置で一人ひとりにきめ細かな支援等の体制が強化された。また、1市3町で一体的な介護サービスを行うため支援センターを設置するなど超高齢社会に向け充実した予算と考え賛成する。なお、介護保険料基準月額301円増となるが、階級を増やし低所得者には割合を抑える等の配慮がされた。

賛成
岡本 貴士 議員

2つの理由から賛成する。1つ目に、本予算は金利上昇・物価高騰など社会情勢の変化に適応したものである。2つ目に、

賛成
川名 静子 議員

賛成の立場で討論する。この一般会計補正予算は、主に整理予算である。新学期を迎え、通学路の安全対策の環境整備。また、蚕糸跡地の地下埋設物処理費用の計上については、資材置き場、駐車場等の利用ではなく、工作物を建築する目的での賃貸借であり、処理費を負担するのは当然である。ただし、本来はこの物件の取得時に調査を実施し、売主に負担させるべき事案であったかと思う。

賛成
川名 静子 議員

がなされた。よって、次の一点を強調し反対討論を行う。その一点とは、法的拘束力を持つ定期借地権設定契約に反し、地下埋設物処理費用673万円を町が負担することとした予算計上だ。このような公金支出が、町長の政治決断により行われたことも明らかにした。これは町民に対する〇〇行為であり反対である。

賛成
川名 静子 議員

児童福祉法及び省令の一部改正に伴う改正

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

家庭の保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

子ども・子育て会議条例の一部改正

子ども・子育て支援法の一部改正及び

子ども家庭庁設置法の施行に伴う関係法律の整備に関する法律の施行に伴う改正

賛成
川名 静子 議員

本町の高齢化率は38%を超すまでになった。今計画は高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる事業が組まれている。そのための生活支援コーディネーターの配置で一人ひとりにきめ細かな支援等の体制が強化された。また、1市3町で一体的な介護サービスを行うため支援センターを設置するなど超高齢社会に向け充実した予算と考え賛成する。なお、介護保険料基準月額301円増となるが、階級を増やし低所得者には割合を抑える等の配慮がされた。

定例会提出案件

条例改正

◆行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報等の提供に関する条例の一部改正

条例の内容

行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正に伴い、関係条項について定義追加等、所要の改正

◆桑折町職員の給与に関する条例の一部改正

条例の内容

ラスパイレース指数の改善対策として、令和6年4月から9月に限り、3級から6級の行政職職員の「給与月額100分の2を減額する。この改正による指数は99・5%で、削減額は463万3千円。(見込み)

◆子ども・子育て会議条例の一部改正

条例の内容

子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、関係条項に対応するための改正

◆給水条例の一部改正

条例の内容

生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の公布にともな

◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

条例の内容

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

◆介護保険条例の一部改正

条例の内容

第9期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画に基づき、令和6年度から8年度までの3年間の介護保険事業の円滑な運営を図るための介護保険料を設定するため改正す

◆給水条例の一部改正

条例の内容

生活衛生等関係行政の機能強化のための関係法律の整備に関する法律の公布にともな

い、水道整備・管理行政の所管が、厚生省から国土交通省及び環境省へ移管されるための改正

指定管理者の指定

内容

半田山自然公園の指定期間の終了にともない次期の指定管理者を指定する。

- 1 管理施設の名称
- 2 指定管理者となる団体

住所 福島市松川町金沢字外手1番3

社名 福島県北森林組合
代表理事組合長

菅野 厚

3 期間

令和6年4月1日から
令和11年3月31日まで

同意

◆副町長の選任



住所 桑折町字桑島五一番地1
氏名 田中 香代子
生年月日 昭和37年2月10日生



◆教育委員会教育長の任命

住所 福島市鎌田字一里塚4番地13

氏名 佐藤 浩哉

生年月日 昭和36年4月13日生

諮問

◆人権擁護委員の推薦について
議会の意見を求める(任期満了によるもの)

住所 桑折町字上町73番地

氏名 高橋 徹

生年月日 昭和27年7月6日生

住所 桑折町大字万正寺字滝ノ沢12番地

氏名 佐藤 ひろみ

生年月日 昭和32年1月4日生

陳情 審査結果

請願・陳情とは

意見や要望を行政に反映させる制度。

※請願・陳情書の作成・提出方法については議会事務局へお問い合わせください。
(電話58212113)

◆年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情(陳情者)

福岡県行橋市上稗田1097-1

小坪 慎也

(審査委員会)

総務文教常任委員会

(審査結果)

継続審査

◆福島県最低賃金の引上げと早期発効を求める意見書の陳情について

(陳情者)

福島県伊達市保原町字舟橋180

日本労働組合総連合会福島県連合会伊達地区連合会

議長 高橋 誠一

(審査結果)

不採択

採択 川村 滋道 議員

不採択理由に「デフレではない、時給が上がると小規模企業では厳しい。賃上げ原資の為価格転嫁は賛成できない」等で委員会では不採択だ。現在内閣府はデフレ脱却宣言はしていないし、マイナス金利政策を解除の情勢だ。時給千円でも週休2日8時間労働で月収16万円。福島

発議第1号

◆町有地(蚕糸跡地)利活用事業に係る「基本計画書」及び基本協定締結後の協議に基づく変更後の「基本計画書」の提出を求める決議(案)(原案否決)

討論 7 賛成 4

反対 佐藤 武朗 議員

採択 齋藤 松夫 議員

次理由で不採択とした委員長報告に反対する。

①不採択理由が不可解かつ不明である。

②文言の一部に問題があったのならば、委員会独自の意見書を起草し提出すべきだ。

③賃上げが強く求められる現在、本陳情不採択は時代の要請に逆行するものだ。

賛成 斉藤 謙 議員

定期借地権設定契約書についてプロポーザルに基づき進める必要がある。福島蚕糸跡地の埋設物処理費用を町長は全額、町が負担するとしているが、契約通り事業者が全額支払うべきである。

臨時会

第1回 1/24

物価高騰対策
支援事業へ

補正予算

一般会計 第6号

既定の予算総額にそれぞれ5,997万7千円を追加し、予算の総額を67億1,416万4千円とする。

補正予算の主な歳入		
項目	補正額	摘要
地方創生臨時交付金	5,981万2千円	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金エネルギー・食料品価格等物価高騰の影響を受けた町民を支援
前年度繰越金	16万5千円	補正一般財源に充当
補正予算の主な歳出		
項目	補正額	摘要
情報政策推進事業	16万5千円	イントラネット回線移設工事
住民税均等割のみ課税世帯への臨時特別給付事業(物価高騰支援)	3,406万4千円	電力・ガス・食品等物価高騰の緊急支援として10万円給付
低所得者の子育て世帯への加算給付事業	704万8千円	住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯の18歳以下の児童1人あたり5万円の加算給付
農業振興対策事業費	35万円	貸出用無煙炭化器購入事業 果樹剪定枝を炭に変え保肥力を高める土壌改良材として有効活用し、化学肥料の低減を促進する
商工振興対策費	1,835万円	プレミアム商品券(第5弾)発行事業

一目でわかる

審議結果



審議結果表へ

令和6年第2回桑折町議会定例会 議案審議結果一覧

	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤 謙	半沢 高	川名静子	原 賢志
一般質問者	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	○	-

○賛否の分かれた議案

議案名	川村滋道	齋藤松夫	半沢正保	羽根ひとみ	石幡政子	岡本貴士	鈴木隆志	佐藤武朗	斉藤 謙	半沢 高	川名静子	議長	可否
議案第3号 桑折町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第8号 桑折町介護保険条例の一部を改正する条例	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可決
議案第11号 令和5年度桑折町一般会計補正予算(第7号)	●	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	-	可決
同意第1号 桑折町副町長の選任について	●	●	○	○	○	○	○	○	●	○	○	-	可決
議案第17号 令和6年度桑折町一般会計予算	●	●	○	○	○	○	●	○	●	○	●	-	可決
発議第1号 町有地(蚕糸跡地)利活用事業に係る「基本計画書」及び基本協定締結後の協議に基づく、変更後の「基本計画書」の提出を求める決議(案)	○	○	●	●	●	●	●	○	○	●	○	-	否決

○：賛成 ●：反対 欠：欠席 討論者

○全会一致で可決の議案

議案名	討論者	議案名	討論者
議案第2号 桑折町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例		議案第15号 令和5年度桑折町公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	
議案第4号 桑折町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		議案第16号 令和5年度桑折町半田財産区特別会計補正予算(第2号)	
議案第5号 桑折町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		議案第18号 令和6年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)予算	
議案第6号 桑折町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		議案第19号 令和6年度桑折町後期高齢者医療特別会計予算	
議案第7号 桑折町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例		議案第20号 令和6年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)予算	
議案第9号 桑折町給水条例の一部を改正する条例		議案第21号 令和6年度桑折町半田財産区特別会計予算	
議案第10号 指定管理者の指定について	川村滋道 齋藤松夫	議案第22号 令和6年度桑折町水道事業会計予算	
議案第12号 令和5年度桑折町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第4号)		議案第23号 令和6年度桑折町下水道事業会計予算	
議案第13号 令和5年度桑折町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)		同意第2号 桑折町教育委員会教育長の任命について	
議案第14号 令和5年度桑折町介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号)		諮問第1号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	
		諮問第2号 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	
		所管事務・所掌事務調査報告	
		常任委員会の閉会中の継続審査の申し出について	
		閉会中の所管及び所掌事務調査の申し出について	

※報告は採決なし



羽根田 ひとみ 議員

質問 ゴミ回収方法の変更の周知は

答弁 今後も周知に努めていく

問 4月からゴミ回収方法が変わることの周知をどのようにしてきたか。
答 町長 広報お知らせ版で周知、またゴミ出し教室などで周知を実施してきた。
問 町内会に入っていない方に対する周知はどのような方法でしているのか。福島県環境アプリの利用をPRしてはどうか。
答 町長 違反シールを貼り、回収せず一定期間ゴミ収集所に留めて置くことで、新ルールへの理解を促進する。



便利な福島県環境アプリ

質問 おでかけパス利用方法の改善を

答弁 予算の関係上、今のまま

問 おでかけパスはより合理的、かつ利用者に寄り添った使用基準の見直しをするべきと考える。
答 町長 待ち時間が30分40分もあり困っているという町民の声がある。乗り合いできないものか伺う。
問 おでかけパスは1人500円というものでなく、1台500円なので、一番遠くの人までの利用にして、途中下車、乗り合いができる。
答 町長 予算の関係上、今のところできない。
問 現在の利用時間は7時〜19時。夜病院に行った際に適用されない為、困っていた町民の声がある。時間外でも病院は可能にしてはどうか。
答 町長 予算の関係上、今のところできない。
問 行きつけの病院が伊達市などで適用されない。困っている町民の声が多くある。見直す考えはないか伺う。
答 町長 予算の関係上、今のところできない。

町民の思いや願いを届ける

65分

3月定例会は全議員11名中9名が登壇



Table with 2 columns: 登壇議員 (Seitang Giin) and 質問事項 (Shitsumon Jikou). Rows include Hanehara Hitomi, Hanazawa Takahiro, Kawasaki Naoki, Aizawa Ken, Suzuki Ryo, Hanazawa Masahiro, Ishihara Fumiko, Kawasaki Muru, and Aizawa Ryo.

※青字は、質問の概要を掲載しています。

一般質問という名の政策提案

一般質問

一般質問

これも質問

問 自転車発祥の地である桑折町のPRは
答 4月27日のイベントで三元車の展示と乗車
問 半田銀山150周年記念事業は
答 秋ごろ半田地区等の公共施設をメイン会場に
問 大規模災害発生時の対応について
答 各団体と協力・連携し、運営する



川名 静子 議員

質問 釀芳幼稚園の幼児教育評価は

答弁 子供への指導等満足している

答 教育長 優れている点は遊びや体験を通して生きる力の基礎を育む教育の基本が充実、配慮が必要な子も含め一人一人へのきめ細かな支援を実施、家庭、学校等との連携も計画的・継続的に実施していることだ。

問 就学前までに「桑折ならでは」と誇れる質の高い幼児教育とは。



みんな一緒に1年生だね

問 保護者は園の教育をどう評価しているのか。

答 教育長 調査結果から、子供が何事にも意欲的・積極的に取り組むようになった。さらに、教職員の指導・援助、保護者への対応・連携にも満足しているとの評価だ。

問 こども園に対し町はどこまで関与できるのか。

答 教育長 教育方針や子育て支援策は町の方針を十分踏まえて決定することを確認している。

質問

地震災害時のトイレ・水対策は

答弁 備蓄品追加購入等の対策を実施



半澤 高 議員



本年1月1日に発生した能登半島地震に関しては、地震災害への対応について検証がなされているが、その中でもトイレと水について伺う。

問 災害用簡易トイレ備蓄について伺う。また、桑折町としてトイレトレーラーを導入してはどうか。さらにマンホールトイレは設置可能か。

答 町長 仮設トイレについては、災害用簡易トイレを始め、下水道や浄化槽を利用するマンホールトイレを備蓄しているが、追加購入の予定である。トイレ



防災井戸の使い方は

答 町長 井戸については、有事の際の生活用水の確保に有効な手段であるので蚕糸記念公園・旧伊達郡役所前広場などの既設井戸の有効活用を図るとともに、登録制も検討したい。

トレーラーについては、費用対効果を十分に検討する必要がある。
問 飲み水に関しては、町や各家庭の備蓄により対応できると考えるが、生活用水については避難所となる学校等に井戸を掘って災害時に使用してはどうか。

質問 働き手が現在の8割減になる 施策は

答弁 安心して暮らせる環境を作っていく

これも質問

問 令和5年は皆が幸せを実感できる町であったか
答 交付金を活用し各種支援策を講じ対策してきた
問 防災分野での女性参画はまだ足りないのでは
答 多様な視点が必要、参画への協力を求めている

問 16年後の働き手確保策は。
答 町長 実現は厳しい状況にあるが向上に努めていく。

問 希望出生率2・07達成の施策は。
答 町長 実現は厳しい状況にあるが向上に努めていく。

問 インフラ整備を前倒しで行う考えは。
答 町長 現在の機能を維持して管理を行う。

問 介護医療現場にロボットや外国人労働者の導入の考えは。
答 町長 需要が高まる一方、不足している人材確保は急務だ。国・県と連携し安心して暮らせる環境を作っていく。

質問

将来にわたる人口減少への対応は

答弁

効果的施策を重点的・持続的に展開

問 国立社会保険・人口問題研究所が、昨年末に発表した将来推計人口によれば、桑折町の2050年の推計人口は6783人、15歳未満の生産年齢人口は2804人になるとしている。今回発表された将来推計人口に関して町長の所見を伺う。

答 町長 予想をはるかに超える速さで人口減少が進み、国・県はもとより本町にとっても大変厳しい局面を迎えていると受け止めている。「みんなが幸せを実感できる 元気なまち こおり」の実現に向け効果的施策を重点的かつ持続的に展開していく。

これも質問

問 空き地・空き店舗対策は
答 空き店舗出店支援事業等を実施
問 中学部活動「地域移行」次年度は
答 部活動指導員・外部指導者を配置



鈴木 隆志 議員

質問 月28万2千円の賃借料は必要か

答弁 賃借料を払っても必要と判断した

問 いちい桑折店內に、なぜ、賃借料を払ってまで、自習室を設置しなければならなかったのか。

答 町長 気軽に立ち寄れるスペースとして、場所的にも利用しやすい場所であり、サークル活動、読書等、広く町民に利用していただけるとの考えで、新たな建設費用、その後の維持管理経費を考慮し、賃借料の中で利用する方が、有効と考え判断した。



自習室を利用してみましたか

問 よもーよ、イコーゼ等の町施設の利用は、検討しなかったのか。

答 町長 よもーよ午後6時、イコーゼ午後8時30分閉館に対し、いちい桑折店が、午後9時閉店であることを考慮し決定した。

問 賃借料の額は、どのようにして、決定したのか。

答 町長 協議の中で、専有面積、光熱費等を踏まえ、令和5年1月に合意した。

質問 企業誘致で財政豊かになるか

答弁 企業誘致等で税収の確保を



斉藤 謙 議員



問 総合計画前期最終年次として、前年度決算を踏まえて、予算化しているのか、予算は町民にとって大変分かりにくいので、事業別予算書を作成し、町民が分かり易い資料を公表すべきである。



企業誘致で財政は

答 町長 毎年4月発行の広報こおり予算特別号を通して、事業区分ごとに分かり易く公表している。

質問 町民誰もが解る事業の見える化は

答弁 アンケート調査等により統計を活用

問 各種事業を行う場合、現行の予算書では、理解はなかなか難しいので、地域経済分析(リソース)で「見える化」を図るべきでないか。

答 町長 各課でリソースに関しては、参考としながらも町村単位のデータは得られないことから、町内アンケート調査等での統計データを利用し、エビデンスに基づく政策立案に当たるとの指示している。

質問 年1千万円の地域振興協力金は

答弁 基金の使途に沿って活用していく

問 伊達地方衛生興協力金をどのように活用していくのか。

答 町長 協力は、地域の生活環境、活性化、振興等に要する事業経費として支払われるもので、同種の目的を持つ「ふるさと振興基金」に積立、目標に沿った事業の財源として活用していく。

問 まとめて、8千万円の協力を申請したのは、目的、計画があつてのことか。

答 町長 ある程度、まとまった金額を確保することが、町として、利用しやすいと判断したもので、特に、目的、計画があつてのことではない。

問 町内会からの道水路整備等、生活環境整備の要望に対し、どのように対応していくのか。

答 町長 現地確認して、緊急性、必要性等を判断し、できるだけ、対応していく方向で、今後取り組んでいく。

これも 質問

問 民設民営の認定こども園を町が誘致したのか

答 保育所機能を移行するの方針で誘致と表現

問 いちい桑折店自習室の賃借契約期間、条項は

答 1年ごとの契約で、途中解約条項の規定有り

問 能登地震を教訓に避難所トイレ洋式化整備を

答 避難所となる体育館トイレの洋式化を進める

これも 質問

問 防災等に関して支援は

答 防災士資格に対し補助金支給

問 蚕糸跡地埋設物処理費用の負担は

答 議会の議論を経て決定されたものである



石幡 政子 議員

質問 妊産婦のメンタルヘルスケア対策は

答弁 「すくすく専用電話」・家庭訪問で対応

問 妊産婦が精神的に不安定になる傾向が多く見られるが、本町での支援、サポートはどの様に実施しているか。

答 町長

保健師や助産婦に直接つながる「すくすく専用電話」等で適切な指導やアドバイスでの支援に努めている。また、「ハイリスク妊産婦連絡票」を活用し産科医と緊密に連携し見守りにも取り組んでいる。



「すくすく育て」母子に寄り添うネウボラ事業

問 低出生体重児に対するケアの充実度は。

答 町長
未熟児養育医療制度により医療費負担の支援や「リトルベイビーハンドブック」を活用し保護者に寄り添ったサポートに努めている。

これも質問

問

答 気候変動が農作物に及ぼす影響をどうするのか
高温障害等に対応する技術指導を実践



半沢 正保 議員

質問 学校小規模化への対応策は

答弁 様々な対策を実施していく



小学校へ入学前の幼小交流の案内板

問 町内の小学校において、複式学級編制が令和6年度2学級、令和7年度2学級、令和8年度3学級と年々増加していくことが明らかである。この状況をふまえ桑折町がめざす「質の高い教育」をどのようにして実践していくとしているのか具体策を伺う。

答 教育長

小規模校の指導体制や教職員研修を充実させていくとともに、来年度早期に「小

答 教育長

特別教育支援員の中には、小学校教員免許保有者もあり、今後配置等について十分検討していく。

問 複式から単式指導できるように、町独自の複式学級解消非常勤講師を配置すべきであると提案する。検討する余地があるのかを伺う。

質問 地区公民館の管理運営の方法は

答弁 住民主体に利活用できるようにしていく

問 地区公民館の管理運営方法を1部変更し3年が経過しております。利用者の声をふまえ、現状をどのように評価しているのかを伺う。

答 教育長

当初は戸惑いの声を寄せられたが、利用方法の周知と丁寧な説明に努め、円滑にご利用いただいている。

問

先日の議会報告会において、「公民館の管理運営を地区住民自治協議会に移管してほしい」という積極的かつ熱意のこもった意見が寄せられた。

答 教育長

地域住民主体による効果的な活用方法の検討を進め、地域公民館移管の先導モデルとして、半田地区住民自治協議会と実施に向け協議を進めていく。

また、地区住民自治協議会が、地区の学び・福祉・つどい等の拠点として有効に管理運営していく覚悟があるととらえています。住民主体という観点から、管理運営のあり方の多様性を認め、地域に移管できるものは、速やかに移管するお考えはあるのかを伺う。

答 教育長

地域住民主体による効果的な活用方法の検討を進め、地域公民館移管の先導モデルとして、半田地区住民自治協議会と実施に向け協議を進めていく。

これも質問

問

答 献上桃が持続的に生産されていく工夫を
農地の集積・集約化を図り、地域農業の担い手を明確化していく



質問 協定締結前の基本計画を公表せよ

答弁 企画提案書の取扱いに変更はない

齋藤 松夫 議員

問 「蚕糸跡地プロポーザル公募実施要領」によれば、事業実施のための基本協定締結前に基本計画（建設計画、事業計画、経営計画、テナント誘致計画等）を定めなければならないとしている。自ら定めた実施要領を無視し、基本計画を定めぬまま基本協定締結に至ったのではないか。また企画提案書をもって基本計画書と

答 町長 基本計画は、プロポーザル実施時における「企画提案書（事業計画書）」をもって基本計画としたものである。その後の協議で詳細を決定していくこととしたものである。企画提案書については現在も取り扱いに変更はない（非公表）。



公文書となった今も非公表～事業者提出の企画提案書

質問

パートナーシップ制度導入は

答弁 他自治体の動向を見据え検討したい



川村 滋道 議員



この資料は上記のQRコードからダウンロードできます

問 性的マイノリティのパートナーシップ制度が今年1月で386自治体で導入され人口の8割、1億人を超える地域に広がっている。伊達市では1月から福島市では今年度から導入する。当町の取り組みを伺う。

答 町長 私はこの制度検討の委員会に参画して状況は承知している。他自治体の動向を見据え当町でも導入に向け検討したい。尚委員ご指摘の「多様な性に関する職員ハンドブック」は当町職員にも学ばせたい。

質問 解散命令文書読んだか・園名は

答弁 読んでない・醸芳ではないものを

これも 質問

問 委員会提言の地球温暖化対策計画見直しは策定から5年経過し実情に合わせ見直した
答 旧郡役所周辺整備計画のスケジュールは令和6年度美術館解体10年度までの事業
問 「将来地域別推計人口」を活用してるか
答 政策立案の基本データとして用いている

問 旧統一協会への解散命令請求文書は読んだか伺う。
答 町長 文書は承知しているが読むまでには至ってない。国は、旧統一協会が宗教法人法に規定する解散命令事由に該当するものと判断し、解散命令請求の手続きを行った。今後、裁判所により判断が示されると捉えている。園の名前は「醸芳」ではなく、事業者自身に考えてもらうこととする。

問 旧統一協会への解散命令請求文書は読んだか伺う。
答 町長 文書は承知しているが読むまでには至ってない。国は、旧統一協会が宗教法人法に規定する解散命令事由に該当するものと判断し、解散命令請求の手続きを行った。今後、裁判所により判断が示されると捉えている。園の名前は「醸芳」ではなく、事業者自身に考えてもらうこととする。

質問

蚕糸会館利活用に関して

答弁

合意書を今年締結した

問 いちいの学習スペースの契約と諸経費を伺う。また、町民有志が提出した「町立醸芳保育所の存続をも求める」署名をコピーし町長が署名者に意思確認をされたようだが請願権をどのように認識しているのか伺う。

答 町長 いちいと合意書を今年1月25日締結した。賃貸料には光熱費も含む。管理は事業者が行う。また、請願権は尊重するし圧力と受け止められたならお詫びする。

これも 質問

問 災害時の町の準備状況は
答 役場の備蓄倉庫に確保している
問 Lアラートの運用状況は
答 町民のスマホに情報を転送する
問 東電の賠償対応は
答 引き続き東電に要請していきたい

第3回議会モニター会議が開催されました

日時 令和6年2月18日(日) 13:30より **場所** イコーゼ!キッズルーム

参加者 ●議会モニター 伊藤 和磨 佐藤 未来 丸山八重子 八木沼康弘 穴戸 守
●議長 原 賢志 ●広聴委員長 半沢 正保 ●広聴副委員長 石幡 政子
●広聴委員 齋藤 松夫 羽根田ひとみ

内容 2点について、話し合いが行われました。1つめ「議会だより」へのご感想とともに、皆様に広く読んでいただくための方法を提案いただきました。2つめとして、「議会モニター年間活動」についてご感想をお一人おひとりに述べていただきました。(こちらは最終ページで紹介いたします。)



議会だよりの充実のために、どうすればよいかを話し合っているようす

文字数が多く、関心の少ない皆さんには抵抗があると思う。

「議会だより」へのご感想

中の写真もカラーだとおよい。

若い人からお年寄りまで皆が見てわかりやすい議会だよりをめざしてほしい。

QRコードの下に説明があり、前回の要望がさっそく反映されているはうれしい。

どうしても数字が多くなると読み手には苦手になってしまう。表記の仕方をどうするかが課題である。

編集について素人の視点だけではその上にいかないのでプロのアドバイスのもと研修してほしい。

表紙など工夫されていることは認識している。webへの配信をもっとアピールしてほしい。

クロスワードなど少しリラックスできる遊びのあるコーナーがあってもよいのでは。

文字の大きさはだいぶ改善されてきた。今後も改善を続けてほしい。

議会豆知識とか、女性議員が誕生した時のこと、議会とはそもそも、等々、議員裏話もおもしろそう。

町政についての情報発信の記事が数多くあっていいのではないか。

3月定例会

常任委員会活動報告

総務文教委員会

委員長 斉藤 謙

当委員会は①「認定こども園」の進捗状況、②少子化時代の学校教育のあり方、③その他の3項目を調査事件として調査研究している。

- 1 「認定こども園」に関しては、プロポーザル実施要領に記載してある「基本計画」について、記載がないことは問題であることと蚕糸跡地への廃棄物処理費用について、町が全額負担とすることは、借地権契約締結に全額業者負担としていながら、遵守されないことは問題であること等
- 2 少子化時代の学校教育のあり方、に関しては、睦合小学校で令和6年度から複式学級が発生するとのことで、町の対策等について調査しているが、今後とも引き続き調査していく。

広報広聴常任委員会

委員長 半沢 正保

2/18(日)多目的スタジオ イコーゼ!において、第3回議会モニター会議を開催いたしました。議会だよりをより多くの皆さんに読んでいただけるための手立てや若い皆様へ議会に関心を向けいただく方策等について話し合いがなされました。詳細につきましては、25・26ページのまとめをご覧くださいと思います。

議会運営委員会

委員長 半沢 高

閉会中の所掌事務調査事項である「議会基本条例第20条に基づく検証」について中間報告を行った。議会基本条例について改選前の4年間においてその目的が達成されているか議会運営委員会にて検証を行っており、今回の中間報告では主な7点を指摘し、今後の基本条例の運用の改善を図っていくこととした。(桑折町議会ホームページに報告書掲載)さらに当委員会では、①正副議長の選挙について②政務活動費について③災害時の対応についての3点を新たに条項として追加するかどうか条例改正を視野に今後も調査を進めていく予定である。なお、同じく調査事項の「一般質問のあり方」についても今までの一般質問の総括等をもとに調査を進めていく。

産業厚生常任委員会

委員長 佐藤 武朗

- 1 調査事件 伊達桑折インターチェンジ周辺の開発について
- 2 調査目的 伊達桑折インターチェンジ周辺の開発促進を図るため
- 3 調査経過 省略
- 4 調査の結果

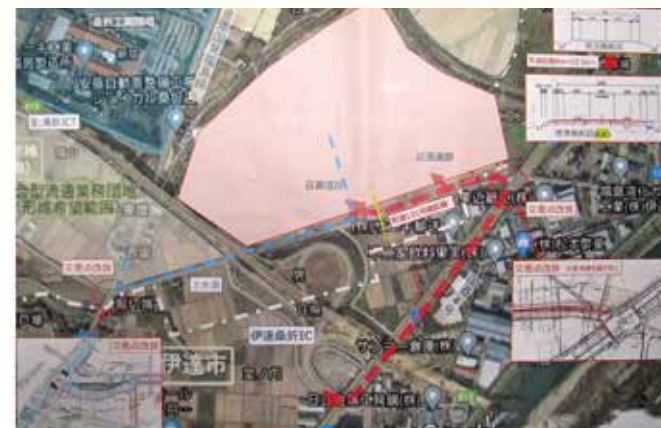
前回の桑折町総合計画「献上桃の郷こおり創生プラン」において、伊達・桑折インターチェンジ周辺地区(81.4ha)(以下IC周辺という)を対象に民間活力による複合型流通・業務拠点形成に向け、農産法をはじめ各種の手法を検討してきたが実現に至らなかった。

新たな総合計画「献上桃の郷こおり未来躍動プラン」に、21世紀の追分推進プロジェクトで、都市的土地利用の推進、新たな雇用創出につながる工業振興と企業誘致を掲げている。

現在、IC周辺エリア内の三角地区(19ha)で地域未来投資促進法を活用して民間業者が進めている流通団地開発計画について、委員会として調査事件に上げ、担当課より計画の概要及び進捗状況等の説明を受けた。

その結果、委員会では、三角地区の開発事業の成否が、今後のIC周辺全体の計画推進に大きな影響を及ぼすものと判断し、民間の事業ではあるが、下記のような対応が必要と考えることから行政としての可能なサポートを望むものである。

- (1) 民間の事業であるが、この開発を進めるには企業誘致が最大の課題であることから、事業の推進、企業誘致等に関してトップセールスを行うこと。
- (2) 企業進出確保のため地域未来投資促進法による支援策以外にも町独自の支援策を検討し、民間活力による今後の周辺計画の促進につなげるべきである。
- (3) この流通団地開発に伴う周辺のインフラ整備等に関しては、進捗状況を見据えての事務執行に努めること。
- (4) この事業は民間活力による開発であり、今後のまちづくりに大きく影響するものと考えられる。議会に、この事業内容が理解できるよう、要所において説明する機会をつくること。また、町民の理解を深める説明の機会等もつくること。



開発予定地



議会活動状況報告

◀詳しくは、こちらから

令和5年12月12日～令和6年3月15日

月 日	活 動 状 況	内 容	対 象 者
R5.12.14	総務文教常任委員会	「認定こども園」の進捗状況に関して、少子化時代の学校教育のあり方に関して	選 出 委 員
R5.12.15	醸芳幼稚園発表会(年長)	令和5年度発表会(年長組)	議 長
R5.12.15	広報広聴常任委員会	議会だより編集会議	選 出 委 員
R5.12.17	『純米吟醸辛口桑折新酒発表会』・『弥右衛門を楽しむ夕べ』	新酒発表会	議 長
R5.12.19	議会全員協議会	12月定例会の総括について、議会報告・意見交換会の総括について、パレスチナガザ地区等における即時かつ持続的な人道的休戦を求める決議(案)について	全 議 員
R5.12.19	議会運営委員会	12月定例会の総括について	選 出 委 員
R5.12.19	保護司歓送迎会	歓送迎会	議 長
R5.12.21	議会全員協議会	令和5年第8回桑折町議会臨時会の議事日程等について、提案内容の説明	全 議 員
R5.12.21	議会運営委員会	令和5年第8回桑折町議会臨時会の議事日程等について	選 出 委 員
R5.12.21	令和5年第8回桑折町議会臨時会	条例改正2件、補正予算1件、決議1件審議採決	全 議 員
R5.12.21	伊達地方消防組合議会全員協議会	令和5年第5回組合議会臨時会議事日程等について	選 出 議 員
R5.12.21	令和5年第5回伊達地方消防組合議会臨時会	条例改正1件、補正予算1件審議採決	選 出 議 員
R5.12.22	広報広聴常任委員会	議会だより編集会議	選 出 委 員
R5.12.25	公立藤田病院組合議会全員協議会	令和5年第4回組合議会定例会議事日程等について	選 出 議 員
R5.12.25	令和5年第4回公立藤田病院組合議会臨時会	条例改正1件、補正予算1件審議採決	選 出 議 員
R5.12.25	広報広聴常任委員会	議会だより編集会議	選 出 委 員
R5.12.26	伊達郡町村議会議長会議(合同会議)	伊達郡町村議会議長会等の役員選出について、令和6年度伊達郡町村議会議長会当初予算(案)の概要について、県町村議会議長会に係る今後の会議日程等について	正 副 議 長
R5.12.26	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会	令和5年第3回組合議会臨時会提出議案について	選 出 議 員
R5.12.26	令和5年第3回伊達地方衛生処理組合議議会臨時会	条例改正2件、補正予算3件審議採決	選 出 議 員
R5.12.28	広報広聴常任委員会	議会だより編集会議	選 出 委 員
R 6 . 1 . 1	諏訪神社元旦祭	元旦祭直会	議 長
R 6 . 1 . 4	令和6年桑折町新年会挨拶会	新年挨拶会	全 議 員
R 6 . 1 . 6	株式会社ふるさとエール新年会	新年会祝辞	議 長
R 6 . 1 . 7	桑折町消防団出初式	祝辞	議 長
R 6 . 1 . 7	令和6年桑折町二十歳の成人式	激励の言葉	議 長
R 6 . 1 . 7	桑折町消防団第1分団第4部新年会	新年会	議 長
R 6 . 1 . 9	交通三団体交通安全祈願祭	交通安全祈願祭	議 長
R 6 . 1 . 9	議会全員協議会	認定こども園に関して	全 議 員
R 6 . 1 . 9	広報広聴常任委員会	議会だより編集会議	選 出 委 員
R 6 . 1 . 9	道路行政要望報告会	報告会	議 長
R6.1.10	桑折町老人クラブ連合会来庁	要望書について	議 長
R6.1.10	桑折町社会福祉協議会来庁	要望書について	議 長
R6.1.11	議会全員協議会	12月定例会 2番議員一般質問での町長答弁に関して、令和5年度議員視察研修の実施について、議会運営委員会委員長からの報告	全 議 員
R6.1.12	令和6年桑折町消防団新年顔合せ会	祝辞	議 長
R6.1.14	桑折町建設業連合会新年会	新年会	議 長
R6.1.16	総務文教常任委員会	「認定こども園」の進捗状況に関して、少子化時代の学校教育のあり方に関して	選 出 委 員
R6.1.16	産業厚生常任委員会	伊達桑折インターチェンジ周辺の開発について	選 出 委 員
R6.1.16	議会運営委員会	議会基本条例第20条に基づく検証について	選 出 委 員
R6.1.19	桑折町商工会役員新年会	祝辞	議 長
R6.1.20	令和6年桑折町スポーツ協会新年会	新年会祝辞	議 長
R6.1.24	議会運営委員会	令和6年第1回桑折町議会臨時議会の議事日程等について	選 出 委 員
R6.1.24	議会全員協議会	令和6年第1回桑折町議会臨時議会の議事日程等について、提案内容の説明、国道4号福島北道路計画検討に関する第1回アンケート調査について、議会運営委員長からの報告	全 議 員
R6.1.24	令和6年第1回桑折町議会臨時会	補正予算1件審議採決	全 議 員
R6.1.25	議会運営委員会	議会基本条例第20条に基づく検証について、質問と質疑について	選 出 委 員
R6.1.27	桑折消防団第二部幹部新年会	新年会あいさつ	議 長
R6.1.28	「第70回文化財防火デー」令和5年度桑折町文化財防火訓練	文化財防火訓練観覧	全 議 員
R6.1.30	総務文教常任委員会	少子化時代の学校教育のあり方に関して	選 出 委 員

月 日	活 動 状 況	内 容	対 象 者
R 6 . 2 . 1	議会運営委員会	議会基本条例第20条に基づく検証(中間報告)について、質問と質疑について	選 出 委 員
R 6 . 2 . 3	桑折町消防団ラッパ隊新年会	新年会あいさつ	議 長
R 6 . 2 . 4	令和6年桑折町消防団第4分団幹部新年会	新年会祝辞	議 長
R 6 . 2 . 8	総務文教常任委員会	「認定こども園」の進捗状況に関して、少子化時代の学校教育のあり方に関して	選 出 委 員
R 6 . 2 . 8	産業厚生常任委員会	伊達桑折インターチェンジ周辺の開発について	選 出 委 員
R 6 . 2 . 8	広報広聴常任委員会	令和6年度議会モニターの募集について、議会モニター会議について	選 出 委 員
R 6 . 2 . 9	桑折町四組合合同新年会	新年会あいさつ	議 長
R6.2.14	議会運営委員会	議会基本条例第20条に基づく検証(中間報告)について、調査特別委員会の設置について	選 出 委 員
R6.2.14	令和5年度桑折町老人クラブ連合会 交歓研修会	研修会あいさつ、情報交歓親睦会	議 長
R6.2.15	桑折町地域農業再生協議会臨時総会	経営所得安定対策制度事業の実績報告について 外	議 長、 産 業 厚 生 常 任 委 員 長
R6.2.16	福島地方水道用水供給企業団来庁	議会定例会打合せ	議 長
R6.2.16	福島県町村議会議長会 新人議員研修	地方自治法(議会関係)の解説、議員の心構えと議会運営について	新 人 議 員
R6.2.16	令和6年ふくしん桑折信友会新年会	新年会	議 長
R6.2.18	議会モニター会議	令和5年度 議会モニターの活動を通して	議 長、 広 聴 委 員
R6.2.19	議会運営委員会	令和6年度第2回桑折町議会定例会議事日程等について	選 出 委 員
R6.2.20	公立藤田病院組合議会全員協議会	公立藤田総合病院経営強化プランについて	選 出 議 員
R6.2.22	福島地方水道用水供給企業団2月定例会	条例改正1件、新年度予算1件	議 長
R6.2.24	齋野英利氏 瑞寶単光章受章祝賀会	祝賀会祝辞	議 長
R6.2.26	福島県町村議会議長会 令和5年度(第2回)定期総会	全国町村議会議長会表彰伝達、令和4年度一般会計歳入歳出決算の認定、令和6年度会費分賦収入方法・事業計画・一般会計予算	議 長
R6.2.28	議会全員協議会	令和6年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について、提案内容の説明、議会運営委員長からの報告、令和6年度当初予算説明(議会運営費・監査費)について	全 議 員
R6.2.28	令和6年第2回桑折町議会定例会	会議録署名議員の指名、会期の決定、諸般の報告、行政報告、町長施政方針、提案理由の説明、補正予算6件説明、新年度予算7件総括説明	全 議 員
R6.2.28	総務文教常任委員会	付託事件調査、閉会中の所管事務調査申出事項について	選 出 委 員
R6.2.29	議会全員協議会	令和6年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R6.2.29	令和6年第2回桑折町議会定例会	一般質問(5名)	全 議 員
R 6 . 3 . 1	議会全員協議会	令和6年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R 6 . 3 . 1	令和6年第2回桑折町議会定例会	一般質問(4名)	全 議 員
R 6 . 3 . 5	議会全員協議会	令和6年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R 6 . 3 . 5	産業厚生常任委員会	付託事件審査、伊達桑折インターチェンジ周辺の開発について、閉会中の所管事務調査申出事項について	選 出 委 員
R 6 . 3 . 5	令和6年第2回桑折町議会定例会	条例改正8件、補正予算6件、同意2件、諮問2件、その他1件 審議採決	全 議 員
R 6 . 3 . 6	議会全員協議会	令和6年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R 6 . 3 . 6	令和6年第2回桑折町議会定例会	施政方針に対する質問、新年度予算常任委員会所管別説明	全 議 員
R 6 . 3 . 6	産業厚生常任委員会	閉会中の所管事務調査申出事項について	選 出 委 員
R6.3.8	議会全員協議会	令和6年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R 6 . 3 . 8	令和6年第2回桑折町議会定例会	新年度一般(特別)会計予算常任委員会所管別質疑(総務文教常任委員会所管)	全 議 員
R 6 . 3 . 8	桑折工場協会新年会	新年会	議 長
R 6 . 3 . 9	第44回福島自衛隊音楽祭	自衛隊音楽会	議 長
R6.3.12	議会全員協議会	令和6年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R6.3.12	令和6年第2回桑折町議会定例会	・新年度一般(特別)会計予算常任委員会所管別質疑(産業厚生常任委員会所管)	全 議 員
R6.3.12	総務文教常任委員会	少子化時代の学校教育のあり方に関して	選 出 委 員
R6.3.12	産業厚生常任委員会	付託事件審査	選 出 委 員
R6.3.13	桑折町立醸芳中学校卒業証書授与式	卒業証書授与式	全 議 員
R6.3.14	議会全員協議会	令和6年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R6.3.14	令和6年第2回桑折町議会定例会	新年度一般会計予算総括質疑討論採決	全 議 員
R6.3.15	いちい桑折店オープニングセレモニー	オープニングセレモニー	議 長
R6.3.15	議会全員協議会	令和6年第2回桑折町議会定例会の議事日程等について	全 議 員
R6.3.15	議会運営委員会	令和6年第2回桑折町議会定例会の追加日程等について	選 出 委 員
R6.3.15	令和6年第2回桑折町議会定例会	令和6年度特別会計予算4件審議採決、令和6年度水道事業会計予算審議採決、令和6年度下水道事業会計予算審議採決、追加議案審議採決	全 議 員
R6.3.15	広報広聴常任委員会	議会だより編集会議	選 出 委 員

令和5年度議会モニターの皆様からいただいた感想

議会モニターの主な活動は、「議会だより」をご覧ください、ご意見・ご感想を寄せていただくことです。また、年3回議会モニター会議を開催し、意見交換することで、議会への理解を深め、よりよい町にしていこうとするものです。

令和5年度議会モニターの皆様、活動にご参加いただき本当にありがとうございました。皆様からいただきました。ご感想を順不同で掲載いたします。

議会モニターをきっかけに初めて「議会だより」を見た。なれていなかったのに読むのに中々頭に入りませんでした。読んでいくうちに少しずつ理解できるようになってきた。

議会を傍聴することで、議会モニターの役割を果たしてきた。

現在、有権者に絞って募集されているが、議会モニターという形ではなくとも、未成年者に政治に関心を持ってもらうよう議員と話せる場があってはどうか。

町・町民のために活動されている議会の皆さんの姿を見て、町のことを人ごとではなく、「私には何ができるか?」を考えるようになった。

生まれも育ちも桑折だが、町の行政については、ほとんど向き合ってこなかった。議会と町当局とのやりとりを実際に見ることや議会だよりを詳しく読むようになり、町の動きがどうなっているのかを体感することができた。

議会モニターとして傍聴などはできませんでしたが、少しは議会に対して理解できたような気がします。一年間ありがとうございました。

議会モニターをすることで、町政や議員の方々が身近に感じるようになった。

一人の町民として、町のあり方に関心を持つことができた。できるだけ多くの方に議会モニターを経験してほしいと思う。18歳の高校生とかにもぜひ!

議会モニターは様々な世代の方が参加しているので、それぞれの世代で着目している事が異なっており、視点の違いが勉強となった。

議会モニターに参加したことで、今まで以上に町政に関心を持つことができた。



令和5年度 桑折町議会モニター

佐藤未来 伊藤和磨 八木沼康弘 山川多美子 穴戸 守 丸山八重子 佐藤 篤 以上7名

編集後記

春は卒業、入学、新社会人、と人生の節目の季節です。慣れ親しんだ環境を後に新たな第一歩を踏み出す事は、少しの不安と希望に満ちる晴れやかな心躍る瞬間ではないでしょうか。さて、桑折町に春の装いを…と桑折駅前ポケットパークに芝さくらの植栽を実施した皆さんがいらっしゃいます。3月24日(日)追分町づくり協議会の会員が中心となり、地域の子供達、ボランティアの方々がピンクの苗を丁寧に土手の斜面に植えている様子を、駅を利用する方だけでなく、道行く方も、可愛い花の苗に目を細めていました。追分町づくり協議会は地域の力を駅周辺環境整備に生かそうと日々取り組んでいます。代表的な事業は桑折町の冬の風物詩を代表する駅前イルミネーションですね。このように、桑折町を盛り上げようと地域の力を結束して活動している方々が大勢います。行政との協同作業で住みやすい町づくりが実現される原動力となっているものです。桑折町の未来は明るい!!我々議員団も新たな目標をもって新年度の活動に邁進します! 石幡 政子

まちの歳時記

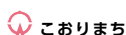
花咲き誇る心豊かな町へ、地域住民による奉仕作業



JR桑折駅前ポケットパーク芝桜の植栽の様子

広報広聴常任委員会編集委員

委員長 半沢 正保 副委員長 石幡 政子
委員 鈴木 隆志 委員 川村 滋道



議会だより

令和6年5月1日発行

発行 福島県伊達郡桑折町議会
責任者 原 賢志

編集 議会広報広聴常任委員会

電話 024(582)2113

印刷 株式会社神尾印刷所